

“しょうちいき つうしん”



編集発行／葛飾区社会福祉協議会 小地域福祉活動推進課

第4次葛飾区地域福祉活動計画を策定しました！

計画の策定にご協力をいただき、誠にありがとうございました。
令和4年度からの5年間、この計画をもとに地域の皆さまと一丸となって地域福祉活動に取り組んでまいります。

基本理念 『みんなで創り・育む 安心して暮らせる「わがまち葛飾」』
計画期間 令和4年4月～令和8年3月



◆葛飾区地域福祉活動計画とは…？

地域住民が直面する様々な生活課題・地域課題を、地域に暮らす住民自らが理解・共有するとともに、住民同志が自主的・主体的に解決していく活動を推進するための民間の活動・行動計画です。

区民や地域の様々な関係者などの協働により、葛飾区での地域福祉を推進することを目的としており、葛飾区が策定した保健福祉の推進に係る諸計画との連携・整合を図り、区と協働しながら推進していきます。

地域の皆さんが一丸となって、福祉のまちづくりを進めていくための計画です。



～計画の策定に向けていろいろな声を反映しています～



策定・作業委員会



ヒアリング調査



アンケート調査

活動計画は、葛飾区社会福祉協議会のホームページから閲覧できます。



〈情報紙に関するご意見・ご要望について〉

しょうちいきつうしんは年に4回発行しています。
今後、取り上げてほしい情報や内容などがございましたら、いつでもお気軽に各地区担当へご連絡ください。よろしくお願いたします。

もくじ

- ・「金町地区小地域福祉活動推進委員会」の紹介…P2
- ・各地区小地域福祉活動の活動報告 …P3
- ・発見 さまざまな地域の地域福祉活動 …P6

今回は「金町地区小地域福祉活動推進委員会」をご紹介します。

金町地区の取り組み

平成27年度、自治会や民生・児童委員、青少年地区委員会が中心となり「金町地区小地域福祉活動推進委員会」が発足しました。地域の方が気軽に集まれる場所を提供し、世代間の交流や相互理解を深め、健康の増進や生きがいづくりを目的に「サロン活動」と「サロンコンサート」を実施しています。

◆サロン活動「お茶のみ会」

毎月第2水曜日 金町地区センター2階ロビーで、簡単な手芸や紙細工を楽しみながら参加者同士の交流を図る「お茶のみ会」を開催しています。コロナ禍ではありますが、サロンを楽しみにしている参加者のために、受付での検温・手指消毒、会場の換気、飲食の提供はペットボトルのお茶のみとする等、感染症対策を施したうえで活動を継続しています。

※緊急事態宣言、まん延防止等重点措置発令期間中は活動休止としています。

サロン活動の様子



活動当初は簡単な折り紙を用意してやっていましたが、だんだんと物足りなくなり毎月趣向を凝らして手芸品をつくるようになりました。参加者を楽ませるのはもちろんのこと、自分たちが楽しむことも大切にしています。



ポチ袋



折り鶴



委員は緑色のエプロンを着用

作った手芸品等を一部ご紹介!



ビニール袋入れ

◆金町サロンコンサート

毎年11月は、金町地区センター5階のホールでコンサートを開催しています。これまで、混声コーラス、ラジオ歌謡など様々なジャンルの方にご出演いただきましたが、令和3年11月に開催したコンサートでは北村謙氏にご出演いただき『バンジョーの弾き語り』をしていただきました。

当日は約90名の方にご参加いただき、「こういうイベントは久しぶりで楽しかった」「感動した」など多くの方から喜びの声をいただきました。



北村謙氏によるバンジョー弾き語り

葛飾区公式 YouTube チャンネルで金町地区の取り組みが紹介されています！

令和3年度葛飾区協働事例映像『令和3年度「協働で支え合う優しいまち かつしか」』において、金町地区小地域福祉活動推進委員会が紹介されましたので、ぜひご覧ください。

<視聴方法> ①、②いずれかの方法でご視聴ください。

①インターネット検索「Q 令和3年度 葛飾区 協働」

②右記のQRコードから検索

QRコード▶



金町地区の紹介：8分45秒～（約3分）

各地区小地域福祉活動の活動報告(12月~2月)

新型コロナウイルス感染症の感染防止対策を行いながら、活動を再開・継続している地区の報告をします。

(感染症対策としてマスクの着用・検温・消毒・換気などを徹底し実施しています。)

〔敬称略〕

高砂地区

★見守り活動

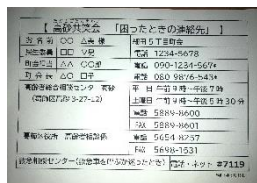
内 容：70歳以上の希望者に“さりげない見守り”を行っています。
日常生活の困りごとを相談できるよう「困ったときの連絡先」も配布しています。

さりげない見守り？

たとえば、洗濯物が干してあるか、郵便受けにものがたまっていないか、雨戸は閉じたままになっていないかなどの見守りを、日常生活で近くを通りがかった際に行います。

見守り協力員？

町会ごとに協力者を募っています。



年1回は安否確認も兼ねた在宅訪問をしています。

◀見守り希望者へ
「困ったときの連絡先」

東金町地区

★朝のラジオ体操の集い

内 容：ラジオ体操
日 時：毎月第2・4日曜日
午前8時~8時30分
会 場：区立わかば公園
参加者：約30名

“黄色いのぼり旗”
が目印です！



身体を動かすと免疫力も向上します！

各地区小地域福祉活動の活動報告(12月~2月)

金町地区

★サロン会

内 容：地域の方が気軽に立ち寄れる「サロン」

※ 創作内容は毎月変更

日 時：毎月第2水曜日 正午~午後2時

※ 8~9月は緊急事態宣言中のため休止

会 場：金町地区センター 2階ロビー

講 師：金町地区小地域福祉活動推進委員会

参加者：10~20名



1月は豪華絢爛な折り鶴をつくりました。

亀有地区

★亀有花風船の会

第27回イベントを開催しました

内 容：花壇の植え付け

日 時：12月11日(月) 午前9時~11時

会 場：亀有駅北口・南口花壇

参加者：24名



◀はばたん、パンジー、ヒューケラなど。抜き取りや花植えを行いました。



※花風船の会では、会員メンバーに向けて「花風船の会つうしん」を発行し、イベントの内容を報告しています。



【花風船の会の取り組み】

●通常活動

亀有駅南口・北口花壇の水やりや花柄摘みを毎週水曜日と土曜日に行っています。

●年間活動

年3回、花壇の植え付け後、亀有地区センターにて健康体操や防災のお話を聞くなどの茶話会を開催しています。

各地区小地域福祉活動の活動報告(12月~2月)

奥戸地区

★笑顔で会いましょう

内 容：体操など

日 時：毎週木曜日

午後1時30分～2時30分

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため

第1週・2週のみ開催

会 場：東奥戸集い交流館

参加者：10～15名



ソーシャルディスタンスをとって
みんなで元気に体操しています。

★ゆずの会

内 容：脳トレなど

日 時：毎週月曜日

午後1時30分～3時

会 場：西奥戸憩い交流館

参加者：10～15名



節分にあわせて、鬼とふくわらいの
塗り絵をしました。

四つ木地区

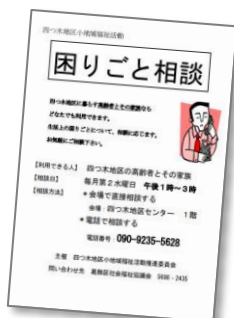
★困りごと相談

内 容：四つ木地区にお住まいの高齢者とそのご家族を対象
に困りごと相談を受け付け（予約不要）

日 時：毎月第2水曜日 午後1時～3時

会 場：四つ木地区センター 2階小会議室

“困りごと相談”
の旗が目印です！



困りごと相談の開催日は、
町会回覧や掲示板でお知らせしています



発見！！全国各地の地域福祉活動

このコーナーでは、全国各地で行われている様々な小地域福祉活動を紹介しています。今月号では、「コロナ禍の地域福祉活動」をテーマに工夫と感染症対策をしながら“人と人とのつながりを絶やさない”活動を行っている2地域を取り上げご紹介します。

①ゆるやかな見守りを広げる取り組み！（島根県浜田市）

浜田市では、「さりげなく」「ゆるやかに」「無理をせず」を合言葉に、誰もが安心して暮らすための“ゆるやかな見守り”をすすめています。例えば、ご近所さん夜になっても電気が点かないな、あれ？となりのおばあちゃんいつもと様子が違うかな？など、日常で異変に気づいたときに、ご家族、ご近所、地域の民生委員などに相談しようという仕組みを築いています。

【コロナ禍の取り組み】

地域の方に「ゆるやかな見守り」の理解を深めてもらうために、「ゆるやかな見守りすごろく」を作成しています。「隣の家に郵便物が溜まっている！こんな時はどうする？」というようなお題が出され、楽しみながら見守りの大切さを考えることができます。

▶ゆるやかな見守りすごろくとチラシ



②あったかネットワーク(新潟県妙高市)

妙高市では、民生委員・児童委員や福祉協力員、社会福祉協議会が連携し、高齢者の見守り活動『あったかネットワーク』に取り組んでいます。単身高齢者世帯等で見守りが必要な方に対して、近所の方が、お茶のみ等日常と変わらない付き合いの中で必要な支援を行っています。

【コロナ禍の取り組み】

“コロナ禍でも地域とのつながりを絶やさないように”と、市内の中学校の生徒が書いたメッセージを届けました。メッセージを読んだ人の声が、生徒にも届くように、カレンダーと一緒に返信用のカードも届け、双方向の交流ができるようにしました。「コロナで孫となかなか会えず寂しかったけど、元気をもらえた。」「若い頃を思い出し、懐かしい気持ちになった。」などの温かいメッセージが中学生にたくさん寄せられ、直接会って話をしたり、手渡したりできなくても、お互いを思いやる気持ちを感じることができたとの声も聞かれました。



Point ご紹介した地区では、コロナ禍も工夫して“支えあいの地域づくり”に取り組んでいます。



- ①これまでの活動方法を変える
- ②地域、学校、施設などが連携した取り組み

全国の事例は、全国社会福祉協議会『未来の豊かなつながりアクション』より引用しています。コロナ禍において、少しでもみなさまが地域でつながりを絶やさないための活動を続けていくヒントになれば幸いです。

全国社会福祉協議会『未来の豊かなつながりアクション』ホームページはこちら

👉 <https://tunagari-action.jp/>

